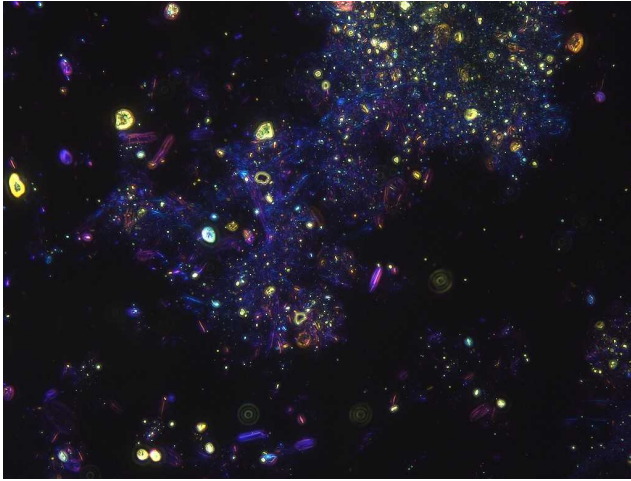


石綿標準試料分散染色法写真 (参考データ 1)

クリソタイル(白石綿)

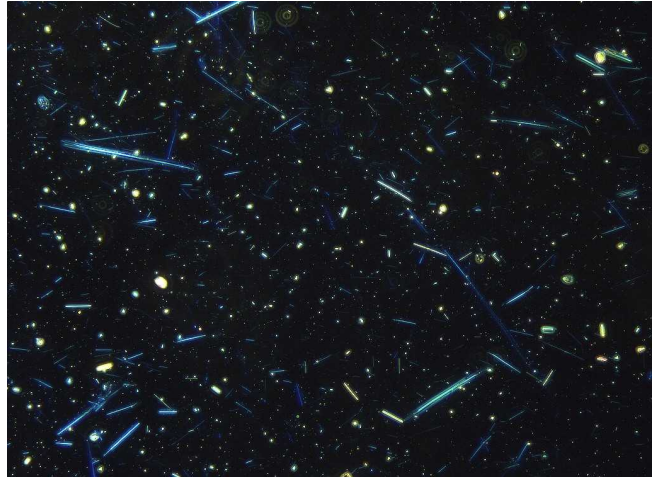
$n_D=1.550$ (×100)



※クリソタイルは屈折率 $n_D=1.550$ で赤紫色～青色に分散色を呈す。

アモサイト(茶石綿)及びクロシドライト(青石綿)

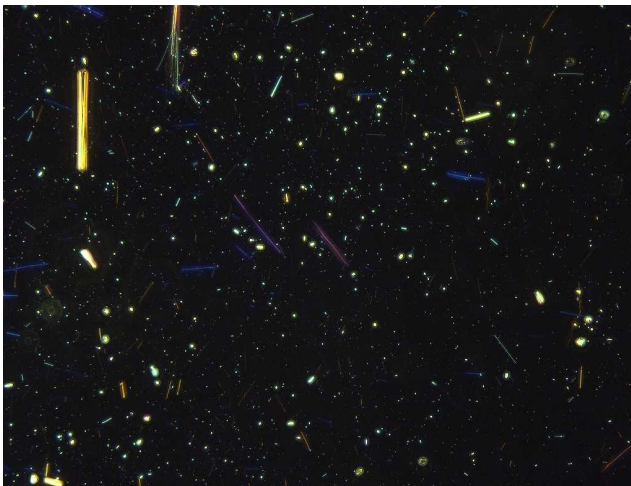
$n_D=1.700$ (×100)



※アモサイト及びクロシドライトは屈折率 $n_D=1.700$ で青色に分散色を呈す。

アモサイト(茶石綿)

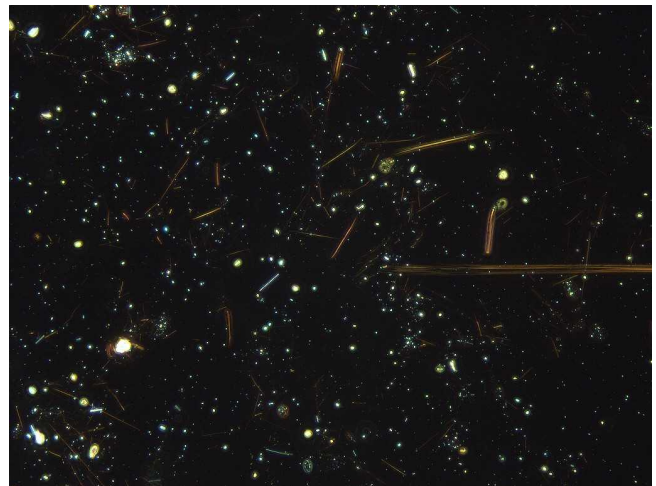
$n_D=1.680$ (×100)



※アモサイトは屈折率 $n_D=1.680$ で桃色に分散色を呈す。

クロシドライト(青石綿)

$n_D=1.680$ (×100)



※クロシドライトは屈折率 $n_D=1.680$ で橙色に分散色を呈す。

備考 : 分散とは、光が波長によりスペクトルに分解することをいい、アスベスト繊維の分散は液体の分散よりも小さいため、一定の屈折率をもつ液中では、特定の特異的なスペクトル(合成色)が観察できる。これを分散色と呼び、屈折率 $n_D=1.550$ ではクリソタイルが赤紫色～青色に、屈折率 $n_D=1.700$ でアモサイトとクロシドライトが青色に、屈折率 $n_D=1.680$ ではアモサイトが桃色、クロシドライトは橙色に分散色を呈す。